



東京大空襲・戦災資料センター 開館10周年記念

朗読劇

# 死んでも ブレストを

劇団前進座  
による

原作：早乙女勝元 台本・演出：鈴木幹二（前進座）

- おはなし：早乙女勝元(作家、東京大空襲・戦災資料センター館長)
- ミニコンサート：鎮魂の曲「祈り・光へ」  
八木健一(ハープ)、八木ゆみ子(シンセサイザー)

2012年 3月24日(土) 午前の部 11時00分

午後の部 2時00分

会場：曳舟文化センター

墨田区京島1-38-11 電話：03-3616-3951

成功協力券：2000円 当日：2500円  
(高校生以下無料・要予約)



東武曳舟駅より徒歩2分  
(東京メトロ半蔵門線と直通)

京成曳舟駅より徒歩2分  
(都営地下鉄浅草線と直通)

■お申込み：下の「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、郵便局でお払い込みください。  
折り返し、「成功協力券」を送ります。当日「成功協力券」を必ずご持参ください。

■お問い合わせ：東京大空襲・戦災資料センター 〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4  
TEL：03-5857-5631 FAX：03-5683-3326  
東京空襲犠牲者遺族会 〒131-0045 東京都墨田区押上1-33-4中村ビル102  
TEL&FAX：03-3616-2338

# 墨田区で生まれた作家が

## 墨田区を舞台に描いた作品

### 「死んでもブレストを」が朗読劇に！

「これが嘘いつわりのない

戦争の真実の姿なのです」

#### 早乙女勝元

28人の女子電話交換手たち

3月10日早朝、一つの黒い塊となって

墨田電話局の一室にて発見された悲劇



墨田電話局・慰霊碑の前で  
—早乙女勝元（1981年撮影）

ブレストとは電話交換手が装着するヘッドホンとマイクのセットです

#### 朗読・劇団前進座出演者



小林 祥子



前園 恵子



津田 恵一



有田 佳代



北澤知奈美



柳生 啓介

#### 【あらすじ】

一九四五年三月九日の夜、「死んでもブレストをはずすな」の上司の訓示を受け、「お国のために」と通信業務を務めた墨田電話局の電話交換手たち。娘たち二十八人は電話局とともに燃え尽きた。焼け跡に残されたガマ口の金具で人数が確認された。平均年齢十七・八歳。なかには十五歳の娘もいた。

一夜で十万人もの人が焼き殺された残酷な無差別爆撃。その中の娘たちの悲劇から、平和とは何かを問いかける。

原作は、東京大空襲をテーマに活動を続けている作家・早乙女勝元（東京大空襲・戦災資料センター館長）。

児童向け絵本（遠藤てるよさんの絵）として、一九八一年、草土文化から刊行。以後、草の根出版、日本図書センターから刊行され、長年にわたって読み継がれているロングセラー作品。